

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年7月22日

【評価実施概要】

| | |
|-------|--|
| 事業所番号 | 〃0175000660 |
| 法人名 | 特定非営利活動法人 すばる |
| 事業所名 | グループホーム 夢 |
| 所在地 | 北見市留辺薬町旭中央28番地108 (電話) 0157-42-5157 |

| | |
|-------|--------------|
| 評価機関名 | (有) NAVIRE |
| 所在地 | 北見市本町5丁目2-38 |
| 訪問調査日 | 平成20年7月22日 |

【情報提供票より】(20年6月30日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------------|---------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 16 年 3 月 22 日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 9 人 | 常勤 8人, 非常勤 1人, 常勤換算 | 4.5人 |

(2) 建物概要

| | |
|------|----------------|
| 建物構造 | 木造平屋造り 1階建て |
|------|----------------|

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|----------|----------------|-----------------|---|
| 家賃(平均月額) | 28,000 円 | その他の経費(月額) | 17,000~22,000 円 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| または1日当たり 1,100 円 | | | | |

(4) 利用者の概要(6月30日現在)

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 9名 | 男性 | 2名 | 女性 | 7名 |
| 要介護1 | 1名 | 要介護2 | 2名 | | |
| 要介護3 | 3名 | 要介護4 | 3名 | | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 85歳 | 最低 | 78歳 | 最高 | 94歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|---------------------------|
| 協力医療機関名 | 北見中央病院 ・おのでら医院 ・木村内科小児科医院 |
|---------|---------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム夢は、北見市留辺薬町東部に位置し周りは閑静な住宅街ですが、南側には、自家栽培の畑や花壇を設けており、居間や居室からも眺められる雰囲気を作り出している1ユニットになっています。管理者・職員は「長い人生の主役です、自分らしくゆつくりとのんびりと」の理念を基に支援されています。皆が集う居間兼食堂では、利用者の笑い声と共に対面式キッチンで家事仕事をしながら見守る職員がおり、家庭的で温かい雰囲気が感じられます。毎日の体操や買い物・散歩に出掛ける等利用者の希望・体調に合わせた支援が行われています。又、移動図書館の来訪、大正琴や蕎麦打ち等のボランティア活動も積極的に取り組んでいます。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員を育てる取り組みの改善については、外部研修への参加を増やす事と、同業者との交流も行っていますが少なく、来月に職員の交換研修の計画も検討されています。災害対策の取り組みは避難消火訓練の際に近所の方達にも参加してもらい理解を深める様改善されています。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>最初に自己評価を管理者で行ない、ミーティングで職員に内容を検討した結果を管理者が修正して取り組んでいます。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>昨年の7月に1回目の運営推進会議を開催しています。今年の7月に2回目の運営推進会議を開催、参加メンバーは、自治会役員、民生委員、包括支援センター長、(家族は欠席)管理者で構成され、ホームの活動報告・運営推進会議の意義や役割り・防災対策等の説明・意見要望を行なっています。今後2ヶ月毎に開催する予定になっています。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>月に1度、請求書と生活状況の報告や、ホームで写した写真などを手渡しで行なっています。又、病院受診時やかかりつけ医の往診時に気になることがあった時には、随時電話連絡をし報告しています。家族が来訪した時には、近況報告をして意見・要望を出しやすい雰囲気作り心掛けています。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、行事にも積極的に参加して地域との交流・理解を得よう努めています。散歩時には積極的に挨拶を交わしたり、近隣住民宅の除雪も行なったり、隣家の高齢者にも気を配っています。</p> |

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|---|------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 管理者・職員は、「長い人生の主役です、自分らしくゆつくりとのんびりと」という独自の理念を作り上げています。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員は常に理念を意識して利用者に支援をする事を心掛けており、ミーティングでも理念を振り返り取り組んでいます。居間や玄関に掲示しています。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会に加入して行事や、日常の挨拶などの交流に努めています。9月には、自家用畑で採れた野菜を使って収穫祭を行なう時に近所に声を掛け、交流を深めています。大正琴や蕎麦打ちボランティアも来訪しています。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者が自己評価票を記入し、職員とミーティング時に検討を重ね修正を経て改善に向けて取り組んでいます。前回の外部評価については、ミーティングで検討し改善点を見直しています。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議のメンバーに、包括支援センター長・自治会役員・民生委員・家族に依頼をしていますが、スケジュールが合わない等、1年間開催が滞っています。 | ○ | 2月毎に運営推進会議の開催で、ホームの行事に合わせた家族の参加と地域への理解を深め、かつ情報の共有という観点から議事録は出席者及び家族全員に配付出来る様望みます。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|---|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市福祉課とは密な連携を取っています。又包括支援センターや社会保険事務所にも相談しています。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 毎月の請求書を手渡しする時や家族の面会時に、利用者の日常の様子や金銭管理の報告をしています。不定期ですが夢通信を発行し写真などと一緒に手渡しや送付をしています。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の来訪が多く、面会時に相談や苦情を言える関係が築かれ話し合いで反映しています。病院の受診結果については、電話などで報告しています。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 同時に複数の職員の離職がありましたが、利用者が安心して支援を受けられるよう、離職は最小限に抑える為管理者と職員は意思の疎通を図り、利用者には馴染んでもらえる関係を築いています。 | ○ | 離職については、直ぐに補充が出来ない事があるので、今後は普段から話し合い取り組む事を望みます。 |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員は外部研修に参加してスキルアップに努めています。研修内容を報告書にして申し送り時に確認出来る様取り組んでいます。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者は複数の同業者と交流を持っています。職員はそこまでの交流は少ないようです。運営者は自社や他のホームと職員の人員交流研修を検討しています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ホーム見学や家族への説明・聞き取りをして、利用者が馴染めるよう配慮し工夫をしています。やむをえず直ぐに入居の場合にも、家族や関係者に聞き取りをして納得してからサービスを提供しています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者を人生の先輩と考え、会話を通して学んだり支えあう関係が築かれています。移動図書館での本の貸し出しを行ったり、野菜や花の種を蒔いたり職員と支え合っています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入浴や食事・おやつ、散歩や買物等の外出の希望があれば取り入れて生活が出来る様支援をしています。 | | |
| を | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 6ヶ月毎に家族と共に利用者の現在の状況を伝え、計画作成者が中心となって職員全体の意見をまとめ機能の維持向上を心掛けています。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月ごとに介護計画を見直しており、その都度状況に変化があった場合は、迅速に検討し対応をしています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 病院への通院介助や送迎支援及び散歩や買物などの外出支援も行っています。重機を持っているので近所に除雪支援も行なっています。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | グループホーム協力病院への通院により健康状態を把握しています。又かかりつけ医の往診もあり、急変があった場合など密な連携を取っています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化・終末期の対応に向けて入居開始時には家族・主治医・管理者含め、話し合い方針を共有しています。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者のケア記録の記入は、見守りながら居間で行い内容を見られない工夫をしています。言葉掛けや見守りにも注意を払っています。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な1日のスケジュールは決まっていますが、利用者の気持ちを尊重し、生活リズムに合わせて柔軟な対応を取る様心掛けています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | メニューは職員によって決めています。きざみ食やおかゆまで利用者ごとに合わせて工夫し、畑で採れた季節ごとの野菜を食材に使っています。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴開始時間は14時からになっていますが、利用者の希望に沿って入浴時間を柔軟にしており、健康状態やタイミングに合わせた入浴を支援しています。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 食事の配膳・後片付けや洗濯物をたたんだり、雑巾がけ・掃き掃除などの家事から歌を歌う・花の世話まで出来る事の支援をしています。日めくりカレンダーを巻る役割も支援しています。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 買い物等の外出支援や散歩、車で足湯のある温泉施設や遠軽町の太陽の丘公園など、行きたい利用者には希望を叶える支援をしています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 夜間のみ玄関に施錠していますが、それ以外は自由に出入りできます。居室には鍵を掛けない支援をしています。外出したい様子が見られた場合は、一緒に外出する支援を実践しています。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 火災訓練は年1回実施していますが悪天候の為屋外までの避難訓練及び消火訓練は行なわれませんでした。近所の人たちに告知をして参加をしています。 | ○ | 避難訓練は夏季と冬季、日中と夜間の避難が想定される為、年2回の実施と、地域住民にも避難時には協力してもらえる様消火訓練にも参加してもらい、より良い関係を築く事を望みます。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 利用者の水分摂取量は1000cc程度を目安にしており、ケアファイルに記録し共有しています。一人ひとりの状況に応じ食べやすい大きさや硬さに注意して支援をしています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間・食堂の窓は南面に取りカーテンで光の量を調節したり、暖房はFFストーブを取り入れ安全に十分配慮しています。窓を開けて換気と臭いに気をつけています。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 6帖の大きさの部屋に今まで使っていた家具や写真・テレビを持込んで、以前と変わらない生活空間を作り出しています。 | | |